

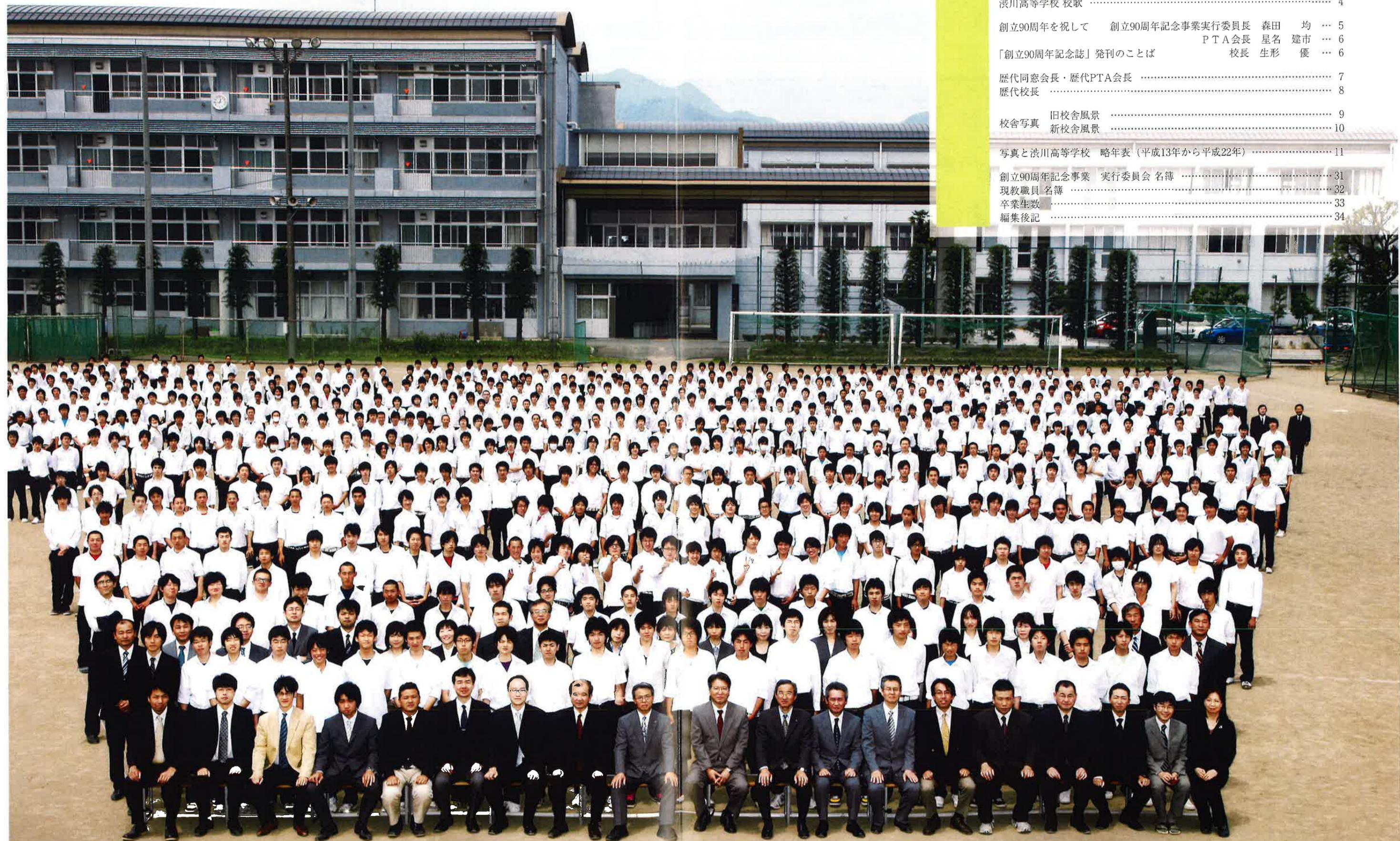
目で見る渋高 10年間の歩み

榛嶺

創立90周年記念誌



群馬県立渋川高等学校



目次

目で見る渋高10年間の歩み(平成13年から平成22年)

校章・校訓・渋川中学校 校歌	3
渋川高等学校 校歌	4
創立90周年を祝して 創立90周年記念事業実行委員長 森田 均 ...	5
PTA会長 星名 建市 ...	6
「創立90周年記念誌」発刊のことば 校長 生形 優 ...	6
歴代同窓会長・歴代PTA会長	7
歴代校長	8
校舎写真 旧校舎風景	9
新校舎風景	10
写真と渋川高等学校 略年表(平成13年から平成22年)	11
創立90周年記念事業 実行委員会 名簿	31
現教職員 名簿	32
卒業生数	33
編集後記	34



昭和23年4月制定 「校章」

学制改革で渋川高校として発足した際、在校生から公募したが秀作がなく、図工担当の長野篤先生が図案化した。

「高」を中心に榛名山系とくに水沢山の雄姿を仰ぎみるところから山を配し、また本校の伝統である質実剛健の校風をあらわす象徴として、深い山で風雪をしのぎ実を結ぶ「ミヤマハンノキの実」をデザインした。

一 校 訓 一

質実剛健
堅忍持久



渋川中学校校歌

川 窪 千 峰 作詞
平 岡 均 之 作曲

Conbrio
Tempo di marcia

ほのほのやまの しずまりて あけしくにはら かみつけの
と-き むかしを そのままに す-めるみそらを かけりゆく
こ が ね の と-び-を し るし-と-し き
ぜんとた-つや わ が-ぼこ う



渋川高等学校校歌

佐 藤 春 夫 作詞
信 時 潔 作曲

力強く 約112

じ ゆう - の こ みん しゆの たみぞ あ
た ら し き ぶん か のく に に わ
れ ら い く わ か さいのち を あ
ま そ そ る お お きにもに て た
く - ま し く つ ちにねをは り ひ
た す ら に し んりをさせ り き
み - み よ や しぶ か わ こうとう がっこうの け
ん じいっ せ ん い き た か し こ
ころすな お に

渋川高等学校校歌

- 一、自由の子 民主の民ぞ
新らしき文化の国に
我等生く若き命を
天そゝる大樹にも似て
たくましく土に根を張り
ひたすらに真理を指せり
君見よや渋川高等学校の
健児一千意気高し心素直に
- 二、学舎は榛名のふもと
居ながらに山うるわしく
門を出て何をか見たる
悠々と大利根流る
川波は光たゆたい
おごそかに希望に向かう
君見よや渋川高等学校の
健児一千意気高し心素直に

昭和二十七年一月十五日
校歌発表演奏会



創立90周年を祝して

創立90周年記念事業実行委員長（同窓会長）

森田 均

我らが母校「渋川高等学校」の前身、「渋川中学校」創立の経緯は、以下の歴史的事実を嚆矢とします（「群馬県教育史」から引用）。

群馬郡渋川町（現渋川市）にも中学校設立の運動が高まり、同（大正）8年11月の通常県会に、「渋川町は利根・吾妻両郡の咽喉に位置し群馬郡北部の枢要の都邑（とゆう）であり、ましてや近來ますます発展の機運を示している。ここに、中学校を設置すれば、群馬郡の大部分と勢多郡の一部の生徒が入学でき、本県男子中等普通教育の普及が図られる。」という旨の「渋川中学校設立の建議案」が、提出された。

こうして渋川中学校は、大正9年（1920年）4月20日に県下8番目の県立中学校として創立され、その後昭和23年（1948年）4月には新制渋川高等学校となり、本年をもってめでたく節目の90周年を迎えることができました。

その間、本校は、歴史と伝統を重ねながら今や「北毛の雄」としての地位を確固たるものとしており、またこれまでに21949名もの同窓生を輩出しています。

このように本校が、無事、90周年を迎えることができ、またこの度、10年間の本校の足跡を綴った「榛嶺」（創立90周年記念誌）が発行されたことは、まことに喜ばしく、ひとえに、上記の数多くの同窓生やその間に関わった多くの教職員の母校愛そしてご理解・ご協力の賜であると、改めて心から感謝します。

ところで高校教育を取り巻く諸環境は、価値観の多様化や少子化などを原因として、複雑多岐化するとともに混迷の度を深めています。

しかし本校は、これからも、県下有数の進学校として、その歩みを止めることがあってはなりません。

その為には、私たち本校の関係者が、先達の尽きることのない寄与を拠り所としつつ、その発展・充実のため更なる努力を傾注すべきものと考えているところです。

どうぞ皆さん、ご一緒に、我らが母校のために頑張ろうではありませんか。

結びになりますが、今後、本記念誌が道しるべとなり、渋川高等学校が、歴史や伝統を重ねて恙無く100周年を迎えることを祈念しつつ、祝辞とします。



創立90周年を祝して

PTA会長

星名 建市

この度の渋高創立90周年記念誌「榛嶺-目で見える渋高10年間の歩み」の発行を、心よりお慶び申し上げます。また、準備に携わられた関係各位には、厚く御礼申し上げます。

80周年以降の10年間で、榛嶺会館は増築され、旧校舎も大規模な全面改築となり、その外観や校内は大きく変わりました。私もPTAに携わり、30数年たった母校に足を踏み入れた時には、その変容にただ驚くばかりでした。30年でこれですから、90周年という時間の重みを考えた時、渋高を支え続けて頂いている大勢の教職員の皆様、在校生諸君、同窓生諸氏やPTA各位には、そのご尽力に衷心より敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて渋高の変容と同様に、社会情勢はまさに激動の時代にあり、教育環境も大きく変化しましたが、我が母校の校訓である「質実剛健」「堅忍持久」の精神は、現在の渋高健児を見る限り、変わらずにしっかりと受け継がれているようで、頼もしい限りであり、ご同慶に堪えないところであります。

終わりに、この記念誌の発行を一つの契機として、母校渋高の関係各位が、この輝かしい歴史を振り返りつつ、さらに新しい未来に向かって大いに発展されますよう祈念して、お祝いの言葉と致します。



「創立90周年記念誌」発刊のことば

校長

生形 優

この度、渋川高等学校90周年を記念して「目で見える渋高 10年間の歩み 榛嶺 創立90周年記念誌」が刊行されますことは、この刊行を機に本校の歴史をふり返り、今後の発展と未来を考える時に意義深いものがあると考えております。

大正9年の創立以来90年の永きに渡り様々な変遷を経て、最近では、平成16年の校舎全面改築工事の完成をはじめ、少子化による学級減等を経験しましたが、「北毛の雄」としての地位を不動のものとしてきました。この間、2万2千名の卒業生は、政・財界をはじめ、教育・文化・スポーツ界等、社会の多方面で活躍していることはご案内のとおりであります。

渋川高校90年の歴史の中には貴重なものも多く、日の目を見ないで埋もれているものが多いのではないのでしょうか。それが、この記念誌の刊行を機に光があたることになれば、うれしい限りであります。

刊行に当たり、「校史編纂委員会」の先生方には大変なご苦勞をいただき、心より感謝申し上げ、発刊のことばといたします。

歴代同窓会長

代	氏名	卒業年数
初	中曾根 満寿雄	大正14年卒(旧制1回)
2	角田 儀平治	大正14年卒(旧制1回)
3	狩野 半平	大正15年卒(旧制2回)
4	飯野 藤好	昭和2年卒(旧制3回)
5	北村 英吾	昭和4年卒(旧制5回)
6	真下 玄永	昭和8年卒(旧制9回)
7	佐藤 直	昭和9年卒(旧制10回)
8	神保(青木) 俊二郎	昭和17年卒(旧制18回)
9	川崎 富三	昭和19年卒(旧制20回)
10	大塚 修平	昭和24年卒(全日制1回)
11	石原 尉行	昭和24年卒(旧制25回)

12代
堀江 明朗
昭和27年卒
(全日制4回)



13代
森田 均
昭和40年卒
(全日制17回)



歴代PTA会長

代	氏名	在任期間	代	氏名	在任期間
初	鈴木 国彦	昭和22年度~昭和28年度	21	福田 肇	平成5年度
2	増田 彦七	昭和29年度~昭和32年度	22	堀口 勝弘	平成6年度
3	由利 太郎	昭和33年度~昭和36年度	23	中野 具昭	平成7年度
4	真下 玄永	昭和37年度~昭和40年度	24	高塚 茂	平成8年度
5	木暮 武太夫	昭和41年度~昭和43年度	25	梅山 政道	平成9年度
6	佐藤 直	昭和44年度~昭和46年度	26	鴻田 直宣	平成10年度
7	浅見 四郎	昭和47年度~昭和49年度	27	梅澤 明	平成11年度
8	川島 尚	昭和50年度	28	中村 勉	平成12年度
9	川崎 富三	昭和51年度~昭和52年度	29	櫻澤 功	平成13年度
10	大塚 修平	昭和53年度~昭和54年度	30	須佐 斎	平成14年度
11	榎本 清茂	昭和55年度~昭和56年度		大林 美秋	
12	羽鳥 一郎	昭和57年度	31	水出 賢一	平成15年度
13	羽仁 素道	昭和58年度	32	狩野 智昭	平成16年度
14	小淵 光平	昭和59年度	33	大塚 隆平	平成17年度
15	橋本 光彦	昭和60年度~昭和61年度	34	福島 一文	平成18年度
16	斉藤 修	昭和62年度	35	中野 正直	平成19年度
17	石附 周行	昭和63年度~平成元年度	36	奥木 桂	平成20年度
18	角田 登	平成2年度	37	角田 勝義	平成21年度
19	都丸 博行	平成3年度	38	星名 建市	平成22年度
20	堀口 靖之	平成4年度			

歴代校長

代	氏名	在任期間	在職年数
初	杉原 九郎	大正9年3月~大正12年3月	3年1月
2	湯澤 徳治	大正12年3月~大正14年9月	2年7月
3	樋口 安一郎	大正14年10月~昭和3年3月	2年6月
4	中曾根 都太郎	昭和3年4月~昭和6年7月	3年4月
5	高見 勤次郎	昭和6年7月~昭和16年3月	9年9月
6	長岡 禎利	昭和16年4月~昭和18年4月	2年1月
7	小林 熊光	昭和18年4月~昭和20年3月	2年
8	平野 武夫	昭和20年4月~昭和25年3月	5年
9	狩野 道美	昭和25年4月~昭和33年3月	8年
10	井関 保	昭和33年4月~昭和35年11月	2年8月
11	小池 悉	昭和35年11月~昭和40年3月	4年5月
12	竹園 一	昭和40年4月~昭和44年3月	4年
13	飯塚 二郎	昭和44年4月~昭和46年3月	2年
14	梶原 堅二	昭和46年4月~昭和51年3月	5年
15	水穴 再喜	昭和51年4月~昭和55年3月	4年
16	佃 和朋	昭和55年4月~昭和58年3月	3年
17	原 弘	昭和58年4月~昭和60年3月	2年
18	八高 進	昭和60年4月~昭和62年3月	2年
19	荒井 英一	昭和62年4月~平成元年3月	2年
20	中村 英一	平成元年4月~平成5年3月	4年
21	北爪 藏次	平成5年4月~平成7年3月	2年
22	今井 郁男	平成7年4月~平成9年3月	2年
23	板倉 美知久	平成9年4月~平成12年3月	3年

24代
富田 祥男
平成12年4月~平成14年3月
在職2年



25代
吉野 勉
平成14年4月~平成16年3月
在職2年



26代
信沢 照雄
平成16年4月~平成20年3月
在職4年



27代
田村 仁
平成20年4月~平成22年3月
在職2年



28代
生形 優
平成22年4月~





平成13年(2001年)5月15日
全面改築工事開始
平成14年(2002年)3月20日
全面改築第一期工事 管理棟竣工
平成15年(2003年)4月1日
全面改築第二期工事 教室棟竣工
平成16年(2004年)3月31日
全面改築第三期工事 昇降口棟竣工
平成19年(2007年)6月29日
教室棟エレベーター竣工



旧校舎風景

新校舎風景



3学年全体集合

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ● 中央省庁再編、1府12省庁でスタート。 ● IT基本法施行。 ● 米国の第43代大統領に共和党のジョージ・ブッシュ就任。
- 2月 ● 成田さん(昨年没)の双子の妹さん死去、108歳。
- 3月 ● 埼玉県で県立高校の校長に民間人を起用。
- 4月 ● 公立小中高校で少人数授業を実施。 ● 「お客様は神様です」のセリフで知られる国民的歌手三波春夫さん死去、77歳。国民栄誉賞を受賞。 ● 小泉内閣発足。
- 5月 ● 童謡「ぞうさん」を作曲した團伊玖磨さん死去、77歳。 ● 大阪に日本初の映画のテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」がオープン。
- 6月 ● 山形大、富山大、金沢大で、過去の入試採点ミスが相次いで発覚。 ● サッカーのコンフェデレーションカップ開催。日本は準優勝。
- 7月 ● 地球温暖化防止ボン会議で、温暖化ガスの排出削減についてのルールを定め、世界約180カ国が合意。
- 8月 ● 水泳の世界選手権(世界水泳)でシンクロが金メダルを獲得したのに続き、陸上の世界選手権(世界陸上)で女子マラソン団体が金メダルを獲得するなど、世界大会各種目で日本勢が活躍。 ● 「東京北砂リトルリーグ」がワールドシリーズで優勝。
- 9月 ● 「東京ディズニーシー」オープン。 ● 米国で同時多発テロ発生。ニューヨーク貿易センタービルが、乗っ取られた民間航空機に激突され倒壊。併せてワシントンの国防総省も攻撃された。 ● 日本国内で狂牛病が発生。
- 10月 ● 米国大リーグマリナーズのイチロー選手が、ア・リーグ首位打者と盗塁王の2冠を獲得。11月にはMVPも獲得。 ● 日本シリーズは、4勝2敗でヤクルトが近鉄を下し日本一。
- 11月 ● 2月にハワイ・オアフ島沖で、米国の原子力潜水艦と衝突し沈没した愛媛県立宇和島水産高校の実習船「えひめ丸」の行方不明者の遺体引き上げ。
- 12月 ● 皇太子御夫妻に女児誕生。愛子と命名、称号は敬宮。 ● ノーベル賞創設100周年。野依良治氏が化学賞を受賞。

キーワード 日本人スポーツ選手が国際的に大活躍(野球・サッカー・マラソンなど) / 深刻化する児童虐待 / 官公庁不祥事続出 / 少年法改正 / 失業者増加 / ファーストフード価格競争激化 / 環境問題への取り組み(ハイブリッドカー、ダイオキシシン対策など)

平成13年(2001年)

4月7日	入学式(市民会館)・始業式	7月11日	定期戦
4月20日	開校記念日 講演会 法政大学工学部教授 飯塚哲太郎氏 「21世紀の科学と技術」	9月8日	学校説明会
		9月15日	県高校総合文化祭
		9月26日・27日	体育祭
		10月18日	マラソン大会
5月11日~13日	高校総体	10月31日~11月3日	2年 修学旅行
5月17日~20日	陸上総体	11月13日	2年 進路講演会②
5月19日	PTA総会		
5月29日	3年 進路講演会		
6月2日	同窓会総会		
6月19日	2年 進路講演会①		
7月7日	定期戦実行委員戦		



旧校舎



3年クラス写真



合格発表



入学式



仮装行列



高校野球応援



定期戦開会式



定期戦



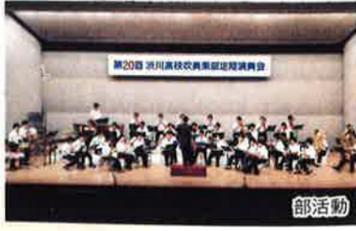
マラソン大会



修学旅行



体育祭



部活動



開校記念講演会



卒業式



3学年全体集合

世界・国内／ニュース・トピックス

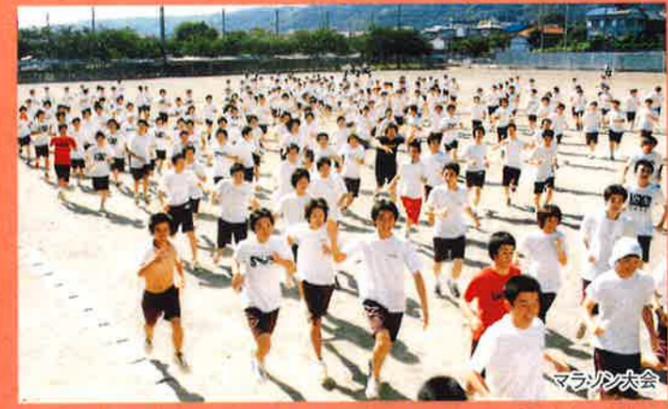
- 1月 ●ユーロの現金流通が12カ国でスタート。●児童文学者のいぬいとみこさん死去、77歳。●大相撲初場所、新大関の栃東が初優勝。新大関優勝は33年ぶり。
- 2月 ●冬季オリンピック開幕。日本選手のメダルは銀1銅1。●第52回ベルリン映画祭で、「千と千尋の神隠し」が金熊賞受賞。
- 3月 ●桜の開花宣言、各地で記録更新。●永世中立国スイスで国民投票により国連加盟が可決。
- 4月 ●全国の公立幼稚園から高校で完全週5日制を実施。●学校の成績の評価が「相対評価」から、「絶対評価」方法に。
- 5月 ●子どもサミットが、アメリカ・ニューヨークの国連本部で開幕。●サッカー・日韓ワールドカップ(W杯)が32の国と地域が参加して韓国・ソウルで開幕。初の2カ国共同開催。ブラジルが5度目の優勝。開催国の韓国はベスト4、日本はベスト16。●「東ティモール民主共和国」誕生。
- 6月 ●身障者が運転する車に「身体障害者マーク」●岡山県新見市の市長・市議選で日本初の電子投票。
- 7月 ●自動車リサイクル法成立。●サッカー日本代表の監督にジーコ氏就任。●海洋冒険家の堀江謙一さんがヨットで2度目の単独太平洋横断に成功。

- 8月 ●「住民基本台帳ネットワーク」(住基ネット)始動。●ヨーロッパ・ロシア各地で豪雨が続き、死者100人をこす水害をひきおこし被害深刻に。●「アゴヒゲアザラシ」が多摩川に出現。「タマちゃん」の愛称もつけられ見物人で賑わう。
- 9月 ●長野県議会で7月に不信任決議にともない行われた知事選挙で、田中康夫氏が再選。●日朝首脳会談が朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)で開催。日朝平壤宣言に署名。10月には拉致被害者が家族と再会。●アジア大会開催。競泳200m平泳ぎで北島康介選手が世界新を記録。
- 10月 ●東京都千代田区で、全国で初めてたばこや空き缶のボーイ捨て、路上喫煙を禁止する条例を施行。●プロ野球日本シリーズは4連勝で巨人が西武を下し日本一。
- 11月 ●40年ぶりに全国の高校3年生を対象に学力調査を実施。
- 12月 ●小柴昌俊さん(右)がノーベル物理学賞、民間企業に勤める田中耕一さん(左)がノーベル化学賞を受賞。企業研究者としては日本初。

キーワード 企業間合併、技術提携／セーフティーガード／疑惑国会、代議士の離党、辞職／食品業界不審／防衛庁、外務省不祥事／迷惑メール、メール犯罪／医療ミス／不正入試、寄付金問題／原発トラブル隠し／サイバー攻撃

平成14年(2002年)

2月22日	前期選抜合格者発表	5月16日~19日	県陸上総体
3月1日	卒業式(渋川市民会館)	5月24日	P T A 総会
3月15日	後期選抜合格者発表	6月1日	同窓会総会
3月22日	終業式	6月16日	榛嶺祭
3月23日	入学説明会	9月7日	学校説明会
4月8日	始業式・入学式	10月17日	マラソン大会
4月19日	開校記念日 講演会 元図書館情報大学教授 工学博士 徳山五郎氏 「人名索引とZipfの法則」	11月19日~22日	2年修学旅行
5月10日~12日	県高校総体	12月10日	2年進路講演会
5月14日	3年進路講演会		



マラソン大会



生徒総会



生徒総会



定期戦



開校記念講演会



榛嶺祭



榛嶺祭



マラソン大会



修学旅行



部活動



部活動



卒業式



祝 群馬県立渋川高等学校卒業証書授与式

卒業式



3学年全体集合(卒業式)

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ●プロ野球の松井秀喜選手がニューヨーク・ヤンキースへ入団。●大相撲の貴乃花が引退。モンゴル出身力士・朝青龍が横綱に昇進。
- 2月 ●スペースシャトル「コロンビア」着陸失敗。乗員7人全員死亡。●イラク反戦集会やデモ、最大規模。●将棋の羽生善治さんが、公式戦通算800勝を、最速、最年少記録で達成。
- 3月 ●昨年小学5年生～中学3年生までの約45万人におこなった学力テストの結果を発表。「思考・判断力」低下。●米英軍がイラク攻撃を開始。4月には首都バグダッドをおさえ、5月に集結宣言するが、その後も治安悪化。
- 4月 ●日本郵政公社誕生。●中国や香港を中心にSARS(サース、重症急性呼吸器症候群)が猛威をふるう。
- 5月 ●70歳の冒険スキーヤー、三浦雄一郎さんがエベレスト最高峰登頂。●世界卓球選手権女子シングルスで、史上最年少の「愛ちゃん」こと福原愛選手がベスト8入り。大会史上初の快挙。●アジア・サッカー連盟が決める2002年最優秀選手に、日本代表のミッドフィルダー小野伸二選手が選ばれた。
- 6月 ●有事法制3法が成立。
- 7月 ●初めて日本で開かれた第44回国際数学オリンピックで、日本代表の西本将樹さんが金メダルを受賞。●世界水泳選手権の男子100メートル平泳ぎと200メートル平泳ぎで、北島康介選手がどちらも世界新記録で優勝。
- 8月 ●台風や大雨が相次ぎ、全国各地で被害。東北地方は冷夏。●火星が約5576万キロまで大接近。6万年ぶり。●世界体操で、鹿島丈博選手があん馬と鉄棒で優勝。●北朝鮮の核開発をめぐる「6者協議」(日本、米国、韓国、

- 北朝鮮、中国、ロシア)開催。拉致問題の解決も議題に。●世界陸上で末績吾選手が銅。日本初の短距離メダル獲得。
- 9月 ●100歳以上のお年寄りが2万人を超える。8割以上が女性。●世界柔道で日本人大活躍。田村亮子選手は6連覇達成。
- 10月 ●宮里監督が日本初の高校生プロゴルファーに。●トキの「キン」が死亡。日本産トキ絶滅。●プロ野球日本シリーズは、18年ぶりにセ・リーグで優勝した阪神タイガースと4年ぶり2度目の日本一を狙うダイエーの対決。接戦の末、ダイエーが優勝。
- 11月 ●野球のアジア選手権で、長嶋茂雄監督率いる日本代表チームが優勝。アテネ五輪出場の切符を手にする。●衆議院議員総選挙。小泉政権続投。「人形浄瑠璃文楽」がユネスコの「無形遺産の傑作」に選ばれた。「能楽」に続き2つ目の指定。●日本地図に、博物館、図書館を示す新しい記号が登場。38年ぶりの規格改定。●大相撲の横綱・武蔵丸が引退。●コイヘルズウイルスによる鯉の大量死、全国に拡大。
- 12月 ●東京・名古屋・大阪で地上デジタル放送開始。●リニアモーターカーの走行実験で、世界最速となる時速581キロを記録。

キーワード シックスクール/脱北者/都市の再開進行/携帯電話犯罪/スローフード運動浸透/燃料電池の開発/屋上緑化/生分解性プラスチック/少年の重大犯罪増加/市町村合併/超新星/オレオレ詐欺/マニフェスト/エコカー

平成15年(2003年)

2月24日	前期選抜合格発表	5月15日～18日	県陸上総体
3月1日	卒業式(市民会館)	5月23日	P T A・教育振興会総会
3月17日	後期選抜合格発表	6月3日	音楽教室(市民会館)
3月24日	終業式	7月8日	定期戦
3月25日	入学説明会	9月13日	学校説明会
4月7日	始業式・入学式	9月24日・25日	体育祭
4月21日	開校記念式日 講演会 古河産業株式会社元常務 東京大学奉法会常務理事 生方隆勇氏 「処世心得」	10月18日	県高校総合文化祭
5月9日～11日	県高校総体	11月5日～8日	2年修学旅行
5月13日	3年進路講演会	12月9日	2年進路講演会





3学年全体集合

世界・国内／ニュース・トピックス

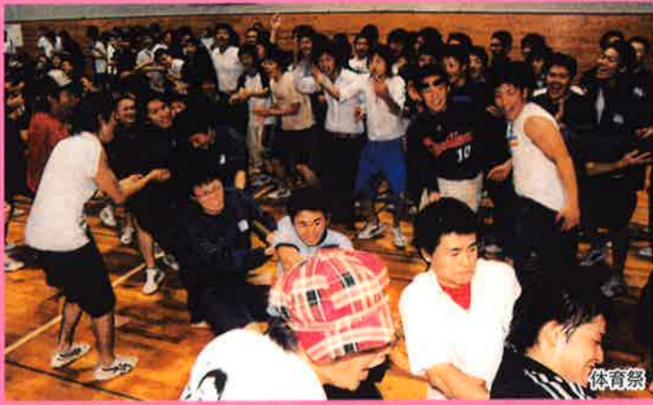
- 1月 ●鳥インフルエンザ発生。芥川賞(第130回)に、37年ぶりに最年少記録。 ●イラク復興支援のため自衛隊を派遣。
- 2月 ●東京都八王子市に不登校の子のための公立校が開校。 ●北朝鮮の核開発をめぐる日本、中国、韓国、ロシア、アメリカ、北朝鮮の6カ国協議開催。
- 3月 ●ドリフターズのいかりや長介さん死去、72歳。 ●NASAが「火星に大量の水があった」と発表。後にそれは「海」だったことがわかった。
- 4月 ●価格表示が本体価格と消費税を合わせた「総額表示」に。
- 5月 ●EUが25か国に拡大。日朝首脳会談開催。 ●北朝鮮による位被被害者の家族帰国。
- 6月 ●年金改革関連法、道路関係4公団民営化法、有事法制関連7法など、135法が成立した通常国会が閉会。
- 7月 ●紀伊山地の霊場(熊野三山、高野山、吉野・大峯)と参詣道(熊野古道)が世界遺産に登録。 ●白骨温泉で不正発覚。
- 8月 ●五輪アテネ大会開催。日本は過去最多の金銀銅あわせて37個のメダルを獲得。体操男子団体総合は28年振りの金。 ●第86回全国高校野球で駒大苫小牧(北海道)が優勝。福島以北では初めて。
- 9月 ●石川県美川教育特区に高校卒業の資格が得られるインターネット高校が開校。 ●ロシアの北オセチア共和国で学校立てこもり事件。

- 人名用漢字が新たに488字増え2928字に。
- 10月 ●チンギス・ハーンの霊廟跡発見。 ●米・大リーグ・マリナーズのイチロー選手が262安打シーズン記録達成。5月には日米通算2000安打を達成した。 ●大型の台風23号で各地で被害。7月から続いている台風の上陸は10個で史上最多。そのたびに各地で大きな被害。 ●新潟県中越地震。震度7の揺れを観測。家屋の倒壊や走行中の新幹線が脱線するなど、被害甚大。その後も強い余震が続ぎ、避難生活者は10万人を超えた。 ●プロ野球日本シリーズで西武ライオンズが12年振り日本一。
- 11月 ●改正道路交通法施行。運転中の携帯電話使用に罰金。 ●千円、五千円、一万円の新札発行。 ●プロ野球ドラフト会議で15歳の辻本賢人投手が阪神タイガースから指名。 ●ヤセル・アラファト議長が死去、75歳。米・NBAで初の日本人選手となった田臥勇太選手がデビュー。 ●プロ野球の新球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が誕生。
- 12月 ●人気のゴジラ、制作を休止。

キーワード 発明・発見訴訟裁判/リコールかくし/国会議員の国民年金未納問題/悪徳商法被害増加/熱中症多発/プロ野球の球界再編問題/天災による激甚災害/クマの被害多発/働かない若者・ニート/エコノミークラス症候群

●平成16年(2004年)

2月23日	前期選抜合格者発表	5月20日~23日	県陸上総体
3月1日	卒業式	6月5日	同窓会総会
3月15日	後期選抜合格者発表	6月18日・19日	榛嶺祭
3月24日	終業式	9月11日	学校説明会
3月25日	入学説明会	9月28日・29日	体育祭
4月7日	始業式・入学式	10月19日~22日	2年修学旅行
4月20日	開校記念日 講演会 株式会社プロネート社長 狩野征次氏 「オンリーワン企業への道」	10月27日	マラソン大会
5月8日	P T A総会	11月7日	県高校総合文化祭
5月14日~16日	県高校総体		



体育祭



マラソン大会



合格発表



立合演説



修学旅行



体育祭



部活動



卒業式



卒業式(同窓会入会式)



榛嶺祭



榛嶺祭



部活動



開校記念講演会



部活動



卒業式



3学年全体集合

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ●自動車リサイクル法施行 ●初詣などを狙い、全国で旧一万円札の偽札が横行 ●プロ野球ダイエー・ホークスは「福岡ソフトバンクホークス」に
- 2月 ●4年5カ月ぶりに三宅島の全島避難が解除 ●BSE問題で販売を休止していた吉野家が1日限定で牛丼を販売
- 3月 ●福岡西方沖で震度6弱(M7.0)の地震 ●愛知万博「愛・地球博」開催。冷凍保存のマンモス公開 ●昨年末に続き、インドネシア・スマトラ沖でM8.7の大地震。ニース島などで千人を越す死者
- 4月 ●ペイオフ完全解禁 ●個人情報保護法が施行 ●中国で日本の教科書問題等に端を発した抗日デモ ●プロ野球パシフィック・リーグの近鉄がオリックスに吸収合併。新球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が参入 ●兵庫県尼崎市のJR福知山線で脱線事故。死傷者567人
- 5月 ●プロ野球セ・パ両リーグ公式戦初の交流試合 ●二子山親方死去
- 6月 ●山口県の高校で男子生徒が火薬瓶を投げ込み生徒58人が怪我 ●中国の重慶で、長江が豪雨で増水。死者200人以上、被災者1700万人
- 7月 ●サミット開催中にロンドンで地下鉄同時爆破テロ発生 ●知床が

世界遺産に登録 ●ロシアのエレーナ・イシンバエワが女子棒高跳び史上初の5mを記録 ●都内で震度5強(M6.0)の地震。鉄道・地下鉄等が一時全面運行停止 ●米で2年半ぶりにスペースシャトル飛行。野口聡一さん搭乗

- 8月 ●韓国の俳優「ヨン様」ことペ・ヨンジュンさん来日 ●米ルイジアナ州ニューオーリンズに大型ハリケーン「カトリーナ」上陸
- 9月 ●日本学生選手権競泳男子100メートル自由形で佐藤久佳選手が日本新で優勝 ●衆院選挙で自民党圧勝、第3次小泉内閣スタート
- 10月 ●パキスタン地震 ●プロ野球日本シリーズは千葉ロッテマリーンズが阪神タイガースに4連勝して31年ぶりの日本一 ●ヤクルトの古田敦也捕手が監督を兼任 ●郵政民営化関連6法案が成立
- 11月 ●紀宮清子さま、黒田慶樹さんとご結婚 ●世界体操で冨田洋之選手が日本人として31年ぶりに男子個人総合で優勝
- 12月 ●被害が広がるマンション、ホテルなどの耐震強度偽装問題で、国が刑事告発

キーワード 企業買収/ホリエモン/アスベスト(石綿) 被害/エチゼンクラゲ/ MOTTAINAI(もったいない) / 2007年問題/ クール・ビズ(COOL BIZ)

2005

●平成17年(2005年)

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|------------|----------|
| 2月22日 | 前期選抜合格者発表 | 5月12日 | 総体選手壮行会 |
| 3月1日 | 卒業式 | 5月13日~15日 | 県高校総体 |
| 3月15日 | 後期選抜合格者発表 | 5月19日~22日 | 県陸上総体 |
| 3月24日 | 終業式 | 6月4日 | 同窓会総会 |
| 3月25日 | 入学説明会 | 6月8日 | クラスマッチ |
| 4月7日 | 始業式・入学式 | 7月13日 | 定期戦 |
| 4月20日 | 開校記念日 講演会
(株)食品新聞社代表取締役会長
木暮幸一氏 | 9月27日・28日 | 体育祭 |
| | 「私の茨高生活について」 | 10月18日~21日 | 2年修学旅行 |
| 4月30日 | 吹奏楽部定期演奏会 | 10月26日 | マラソン大会 |
| 5月7日 | P T A総会 | 11月1日 | 2年進路会議 |
| | | 11月5日・6日 | 県高校総合文化祭 |
| | | 11月15日 | 1年大学見学 |



合格発表



3年クラス写真



入学式



生徒総会



開校記念講演会



修学旅行



定期戦



体育祭



卒業式



榛嶺祭



体育祭



定期戦



マラソン大会



卒業式



卒業式

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ●コニカミノルタが100年の歴史を誇るカメラ事業から撤退 ●大学入試センター試験で初めて英語のリスニングテストを実施 ●郵政民営化
- 2月 ●トリノ冬季オリンピック開催。女子フィギュアスケートで荒川静香(プリンスホテル)が金メダルを獲得
- 3月 ●気象庁がこの冬を「平成18年豪雪」と命名。豪雪で命名は43年ぶり ●World Baseball Classic (WBC)で日本が初代世界一
- 4月 ●携帯電話やカーナビで、テレビの地上デジタル放送などが見られる「ワンセグ」が、一部地域で開始 ●中高一貫のサッカーエリート教育校「JFAアカデミー福島」開校 ●プロ野球阪神タイガースの金本知憲選手がフル出場連続試合全インニング出場「904」で大リーグの記録を抜く
- 5月 ●インドネシア・ジャワ島中部で地震。約20万人が被災 ●世界に広がっているエイズウイルス1型(HIV1)は、アフリカ・カメルーンに生息している野生のチンパンジーが起源と判明
- 6月 ●駐米違反取締の民間委託開始 ●陸上自衛隊のイラク撤収決定 ●サッカー W杯ドイツ大会開催。中田英寿選手引退 ●自殺対策法が成立

- 7月 ●16歳の鳥袋涼平選手が大リーグアトランタ・ブレーブスとマイナー契約 ●スペースシャトルディスカバリー、打ち上げ成功 ●イスラエルのガザ侵略中止決議案が米の拒否権で否決 ●日銀が「ゼロ金利政策」を解除
- 8月 ●米産牛肉輸入再開 ●国際天文学連合が冥王星を「矮惑星」に変更
- 9月 ●秋篠宮妃紀子さまが男子を出産。皇位継承順位第3位。男子皇族の誕生は41年ぶり。お名前は「悠仁(ひさひと)」 ●自民党の安倍晋三総裁が首相に就任。戦後最年少の52歳
- 10月 ●携帯電話の番号継続制度開始 ●プロ野球日本シリーズで日本ハムが44年ぶりに日本一 ●全国の高校で必修科目の履修漏れが発覚
- 11月 ●京都で全市立小中高校生が、いじめ根絶を願い総決起大会を開催
- 12月 ●ノーベル平和賞にムハマド・ユヌス氏。貧困解消に尽力した功績

キーワード ウィニー(個人情報流出) / Suica / ガソリン高騰 / インサイダー取引 / 格差社会 / エレベーター事故 / プール事故 / 次世代ゲーム機 / 愛国心 / 教育再生



3学年全体集合

●平成18年(2006年)

2月21日	前期選抜合格者発表	5月18日~21日	県陸上総体
3月1日	卒業式	6月3日	同窓会総会
3月15日	後期選抜合格者発表	6月9日~11日	榛嶺祭
3月24日	終業式	7月24日	クラスマッチ
3月27日	入学説明会	9月9日	学校説明会
4月7日	始業式・入学式	9月13日	音楽教室(市民会館)
4月20日	開校記念日 講演会	9月26日・27日	体育祭
	都市アナリスト元衆議院議員	10月15日~18日	2年修学旅行
	永井英慈氏	10月17日	1年大学見学
	「信は万事の本を為す」	10月25日	マラソン大会
5月11日	総体選手壮行会	11月2日	県高校総合文化祭
5月12日~14日	県高校総体		



榛嶺祭



マラソン大会



合格発表



榛嶺祭



高校総体開会式



修学旅行



卒業式



卒業式



開校記念講演会



開校記念式典



部活動



修学旅行



定期戦



体育祭



卒業式



3学年全体集合

世界・国内/ニュース・トピックス

- 1月 ● 防衛庁が「防衛省」に昇格 ● 宮崎県知事にタレントのそのまんま東氏(本名・東国原英夫)が当選
- 2月 ● 大都市型市民マラソン「東京マラソン」の第1回が開催され、参加者は2万6千人 ● 全国的に暖冬、記録的な少雪で、北陸地方の降雪量は平年比9%
- 3月 ● フィギュアスケートの世界選手権で安藤美姫選手が優勝。浅田真央選手が2位。 ● 能登半島地震発生。石川県の輪島市などで震度6強を観測
- 4月 ● 子供の数が減り続け4/1現在1738万人 ● 『五体不満足』の著者乙武洋匡さんが東京都の区立小学校教諭に
- 5月 ● 若者の間ではしみが流行 ● 男子ゴルフツアーで15歳の石川遼選手が優勝。日本史上最年少 ● 国の特別天然記念物のコウノトリにヒナが誕生。自然界で43年ぶり ● 改正少年法成立。少年院収容年齢がおおむね12歳に引き下げ ● ミス・ユニバース世界大会で森理世さんが優勝
- 6月 ● 第13回チャイコフスキー国際コンクールのバイオリン部門で日本の神尾真由子さんが優勝
- 7月 ● セブン-イレブンがマクドナルドを抜いて店舗数で世界一に ● 新潟県中越沖地震発生。震度6強を観測。原発火災 ● 参院選で自民党が大敗

- 8月 ● 日本列島記録的猛暑 ● 衛星で観測した北極海の海水面積が史上最小になったと発表 ● 高校野球は史上初となる逆転満塁ホームランで佐賀北高校が優勝
- 9月 ● 米大リーグのイチロー選手が7年連続の年間200安打達成 ● 安倍首相所信表明演説後の突然の辞任表明 ● 月探査機「かぐや」をのせた国産のH2Aロケット打ち上げ成功 ● 柔道の世界選手権で谷亮子選手が7度目の優勝 ● 沖縄戦の「集団自決」教科書記述問題をめぐる沖縄県民集会の参加者は11万人
- 10月 ● 郵政事業が民営化 ● 中教審は、新しい学習指導要綱で小中学校の授業時間数を増やす方向で合意
- 11月 ● プロ野球日本シリーズで中日が53年ぶりに日本一 ● B'zがハリウッドのRock Walkへの殿堂入り ● 日本へ入国する外国人の指紋採取・顔写真撮影義務化
- 12月 ● ノーベル平和賞に米国アル・ゴア氏

● キーワード ● 赤ちゃんポスト/番組ねつ造/いじめが原因の事件急増/官製談合/地域格差/保険不払い/消えた年金/段ボール肉まん/遊具事故/エスカレーター事故/食品偽装多発

● 平成19年(2007年)

2月21日	前期選抜合格発表	5月11日~13日	県高校総体
3月1日	卒業式	5月17日~20日	県陸上総体
3月15日	後期選抜合格発表	6月2日	同窓会総会
3月23日	終業式	6月5日・6日	クラスマッチ
3月27日	入学説明会	6月6日	定期戦実行委員・職員戦
4月9日	始業式・入学式	6月11日	定期戦
4月20日	開校記念日 講演会 東京大学大学院人文社会系研究科教授 角田太氏 「言語の消滅と復活・ワロコ (オーストラリア)の場合」	9月8日	学校説明会
		9月26日・27日	体育祭
		10月29日~11月1日	2年修学旅行
		11月11日	県高校総合文化祭
		11月19日~22日	文化部発表会
5月10日	総体選手壮行会	11月20日	マラソン大会



合格発表



3年クラス写真



合格発表



開校記念講演会



定期戦



クラスマッチ



体育祭



マラソン大会



マラソン大会



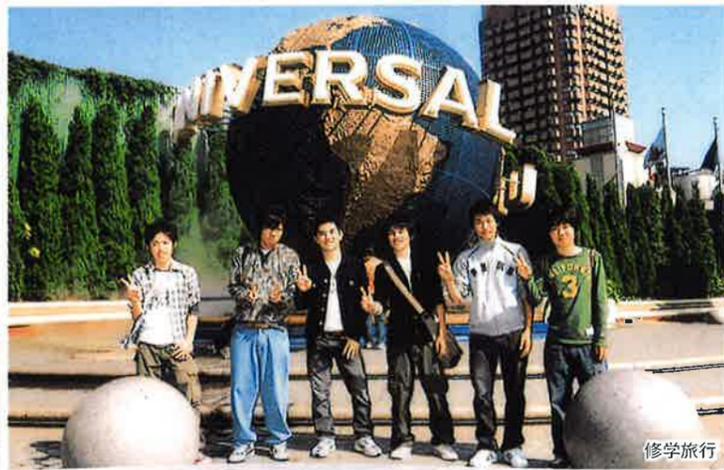
マラソン大会



定期戦



部活動



修学旅行



体育祭



体育祭



卒業式(同窓会入会式)



3学年全体集合

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ●タレントで弁護士の高橋徹氏が大阪府知事に当選 ●中国製の冷凍ギョーザから農薬の成分が検出
- 2月 ●日本郵政とローソンが提携 ●テニスの錦織圭選手がデルレイビーチ国際選手権の男子シングルスで優勝
- 3月 ●中国産野菜の輸入が激減 ●スキージャンプのフリースタイル・モーグルで上村愛子選手が優勝 ●サンゴを食べるオニヒトデが沖縄で大量発生
- 4月 ●全国の小5と中2(約240万人)を対象とした初の体力調査を今年度から実施 ●プロ野球阪神の金本選手、2000本安打達成 ●文部科学省による「学校裏サイト」の実態調査、3万8260件が見つかる ●上野動物園のパンダ・リンリン死亡
- 5月 ●ミャンマーでサイクロン被害 ●中国の四川省で大地震。小中学校の校舎倒壊など被害甚大
- 6月 ●スペースシャトル「ディスカバリー」が打ち上げられ、星出彰彦宇宙飛行士が「きぼう」実験室の取り付けに成功 ●米ヤフー、グーグルと提携合意 ●岩手・宮城内陸地震発生
- 7月 ●洞爺湖サミット開催 ●米大リーグで活躍する日本人選手の先駆けである野茂英雄投手が引退を表明 ●米大リーグのイチロー選手

- が日米通算3000安打達成 ●岩手北部で震度6強の地震発生
- 8月 ●北京五輪開催。競泳の北島康介選手が平泳ぎ100mと200mで優勝。陸上男子400mリレーではトラック種目初の銅メダルを獲得した。日本のメダル数は金9、銀10、銅6。競泳では大会前からスピード社製の水着が話題になった。 ●高校野球夏の甲子園大会で大阪桐蔭が17年ぶり2度目の優勝
- 9月 ●福田首相が突然の辞任 ●北京パラリンピック開催 ●麻生太郎氏首相に就任
- 10月 ●米国の金融危機の影響で世界的に景気減速。株安値、円高が続く
- 11月 ●米大統領選でバラク・オバマ氏が当選。初のアフリカ系(黒人)大統領が誕生する ●テニスの全日本選手権で現役復帰したクムル伊達公子選手が2冠を獲得 ●インドで同時多発テロ発生
- 12月 ●日本人4氏がノーベル賞を受賞。物理学賞に南部陽一郎氏、小林誠氏、益川敏英氏、化学賞に下村脩氏

キーワード 再生紙問題/メタミドホス・ジクロロホス/事故米/物価高騰/厚生年金問題/樹脂製サンダル/硫化水素/居酒屋タクシー/角界騒動/救急医療/大麻汚染

●平成20年(2008年)

2月22日	前期選抜合格者発表	5月15日~18日	県陸上総体
3月3日	卒業式	6月7日・8日	榛嶺祭
3月17日	後期選抜合格者発表	6月7日	同窓会総会
3月24日	終業式	7月24日・25日	クラスマッチ
3月27日	入学説明会	9月16日・17日	体育祭
4月7日	始業式・入学式	9月20日	学校説明会
4月18日	開校記念日 講演会 渋川高等学校同窓会長・弁護士 森田均氏 「渋高生よ、誇りと自信と挑戦心を」	10月15日~18日	2年修学旅行
		11月1日	県高校総合文化祭
		11月20日	マラソン大会
5月8日	総体選手壮行会		
5月9日~11日	県高校総体		



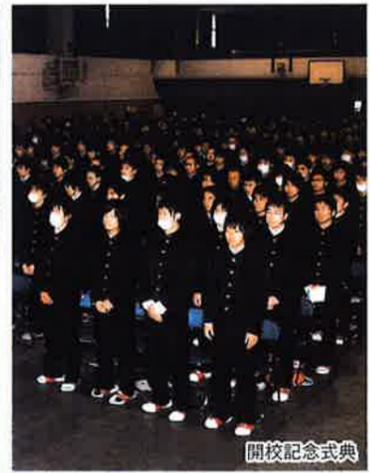
高校総体開会式



マラソン大会



合格発表



開校記念式典



部活動



部活動



クラスマッチ



マラソン大会



体育祭



卒業式



開校記念講演会



榛嶺祭



榛嶺祭



体育祭



榛嶺祭



卒業式



3学年全体集合

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ●東京・日比谷公園に年末から「年越し派遣村」開設 ●初の「被害者参加裁判」開廷 ●大阪の小中20校が携帯ゲーム機「ニンテンドーDS」による学習を導入
- 2月 ●米アカデミー賞で「おくりびと」が外国語映画賞を、「つみぎのいえ」が短編アニメーション賞を受賞 ●ノルディックスキー世界選手権の複合団体が日本が14年ぶりに金メダル
- 3月 ●ETC搭載車限定による高速道路「1000円乗り放題」実施 ●ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表が優勝
- 4月 ●天皇、皇后両陛下ご結婚50年 ●イチロー選手が日米通算3086安打を達成 ●男子ゴルフの石川遼選手(17歳)が米マスターズ・トーナメントに出場
- 5月 ●国内で初めて新型インフルエンザの感染を確認 ●総務省の発表によると14歳までの子どもの数1714万人
- 6月 ●米ゼネラル・モーターズ(GM)が、破産法の適用を申請し経営破たん ●足利事件の菅家利和さん釈放 ●米パン・クライバーン国際ピアノコンクールで、全盲の辻井伸行さん優勝 ●新型インフルエンザの警戒レベルフェーズ6に
- 7月 ●改正臓器移植法成立 ●国際生物学オリンピック、国際数学オリ

- ンピックで日本代表の高校生が大活躍 ●46年ぶりの皆既日食
- 8月 ●東京地方裁判所で初の「裁判員裁判」開廷 ●4年制大学への進学率50%超 ●松井稼頭央選手が日米通算2000本安打を達成 ●陸上の世界選手権男子100mと200mでウサイン・ボルト選手(ジャマイカ)が世界新記録 ●夏の甲子園で中京大中京が7度目の優勝 ●第45回衆議院議員選挙で民主党が大勝
- 9月 ●消費者庁スタート ●鳩山内閣誕生。「脱官僚政治」始動
- 10月 ●新型インフルエンザのワクチン接種開始 ●体操の世界選手権女子で鶴見虹子選手(17歳)が個人総合と段違い平行棒でメダルを獲得 ●小学館が1922年に創刊された「小学五年生」と「小学六年生」を来年休刊すると発表
- 11月 ●「日本経済はデフレ状態にある」と政府が宣言 ●円1ドル=84円台まで進み、14年ぶりの円高水準
- 12月 ●デンマークで国連の気候変動枠組条約について話し合うCOP15を開催

キーワード 派遣切り／定額給付金／エコポイント／エコカー減税／新型インフルエンザ／DNA鑑定／iPS細胞(人工多能性幹細胞)／CO2削減／事業仕分け

平成21年(2009年)

2月20日	前期選抜合格者発表	5月21日~24日	県陸上総体
3月2日	卒業式	5月23日	P T A総会
3月17日	後期選抜合格者発表	6月6日	同窓会総会
3月24日	終業式	7月7日	定期戦
3月27日	入学説明会	9月15日・16日	体育祭
4月8日	始業式・入学式	9月26日	学校説明会
4月20日	開校記念日 講演会 高崎健康福祉大学教授 徳山研一氏 「こどもは、未来である」	10月19日~22日	2年修学旅行
5月14日	総体選手壮行会	11月17日	マラソン大会
5月15日~17日	県高校総体		



開校記念講演会



マラソン大会



合格発表

合格発表



総体壮行会



定期戦



立会演説

立会演説



体育祭



高校総体開会式



部活動



体育祭



定期戦



卒業式

世界・国内／ニュース・トピックス

- 1月 ●箱根駅伝・東洋大が2連覇 ●カリブ海の島国・ハイチで大地震
●日本航空(JAL)、会社更生法の適用を申請 ●沖縄・名護市長選挙で基地移設反対派の稲嶺進氏が当選
- 2月 ●日本相撲協会の理事選挙で調整の慣例を破って立候補した貴乃花親方が当選 ●横綱・朝青龍が引退を表明 ●インド洋給油の海上自衛隊が帰国 ●トヨタ自動車がプリウスなど22万台をリコール
●バンクーバー五輪開催。フィギュアスケート浅田真央選手が銀メダル。スピードスケート男子500mの長島圭一郎、女子チームバレーも銀メダルを獲得
- 3月 ●普天間基地問題 日米の交渉が事実上スタート ●ロシア モスクワの地下鉄で相次いで爆発テロ ●高校授業料無償化法案が成立
- 4月 ●第82回高校野球選抜大会で沖縄興南高校が優勝 ●新党立ち上げラッシュが始まる ●宇宙飛行士・山崎直子さんが登場するスペースシャトル「ディスカバリー」が打ち上げ成功 ●タイでデモ隊と治安部隊が衝突。邦人カメラマン村本博之さんが死亡 ●中国・青梅

省でM7.1の地震。死者は1400人超 ●北欧・アイスランド南部で氷河下の火山が噴火。空港閉鎖など様々に影響を及ぼす

5月 ●中国で上海万博が開幕 高速増殖炉「もんじゅ」がナトリウム漏れ事故から14年ぶりに運転再開 ●携帯端末「i-pad」が日本で販売開始 ●宮崎県で家畜の伝染病・口蹄疫が拡大 ●社民党・福島党首の罷免を受け連立離脱を決定

6月 ●第93代内閣総理大臣・鳩山由紀夫氏が辞意を表明 ●第94代内閣総理大臣に菅直人氏が就任 ●サッカーのワールドカップ・南アフリカ大会が開幕

キーワード JAL破綻/朝青龍問題/トヨタリコール/バンクーバー五輪/上海万博/i-pad・i-phone OS4/ワールドカップ

3学年全体集合

●平成22年(2010年)

2月19日	前期選抜合格者発表	5月14日~16日	県高校総体
3月1日	卒業式	5月20日~23日	県陸上総体
3月16日	後期選抜合格者発表	5月22日	P T A 総会
3月24日	終業式	6月11日	仮装行列
3月25日	入学説明会	6月12日・13日	標榜祭
4月8日	始業式・入学式		
4月20日	開校記念日		
5月13日	総体選手壮行会		



合格発表



総体壮行会



入学式



高校総体開会式



部活動



総体壮行会



標榜祭



標榜祭



標榜祭



入学式



部活動



部活動



生徒総会



標榜祭

❖ 創立90周年記念事業 実行委員会 名簿 ❖

役職	氏名	備考
委員長	森田 均	同窓会長
副委員長	田村 勝	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	角田 勝義	平成21年度PTA会長
〃	星名 建市	平成22年度PTA会長
〃	益子 定	渋川高校 教頭
委員	高塚 茂	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	中野 具昭	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	佐藤 和夫	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	川島 理	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	宮下 智満	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	中澤 恒喜	平成21・22年度同窓会本部役員
〃	小池 幹義	平成21・22年度PTA本部役員
〃	唐澤 敏明	平成21・22年度PTA本部役員
〃	石井 文博	平成21・22年度PTA本部役員
〃	岸 秀樹	平成22年度PTA本部役員
〃	齋藤 清隆	平成21年度PTA本部役員
〃	松村 功	平成21年度PTA本部役員
〃	須藤 有介	平成21・22年度PTA本部役員
〃	関口 一行	平成22年度PTA本部役員
〃	関根 康史	平成21・22年度PTA本部役員
〃	星野 仁	平成22年度PTA本部役員
〃	生形 優	渋川高校 校長
〃	福田 薫	渋川高校 事務長
〃	廣井 達人	渋川高校 教務主任
〃	儘田 永	渋川高校 渉外部長
〃	飯塚 啓司	渋川高校 生徒指導主事
〃	清水 賢木	渋川高校 進路指導主事
〃	長岡 剛生	渋川高校 3学年主任
〃	松本 和行	渋川高校 2学年主任
〃	齋藤 隆	渋川高校 1学年主任
〃	藤川 豊	渋川高校 同窓職員
〃	矢畑 雅史	渋川高校 同窓職員
〃	橋本 整	渋川高校 同窓職員

❖ 現教職員名簿 ❖

職名	氏名	教科
校長	生形 優	
教頭	益子 定	
事務長	福田 薫	
教諭	飯塚 啓司	地歴
教諭	吉井 敏雄	英語
教諭	眞塩 栄子	音楽
教諭	島崎 健一	英語
教諭	藤川 豊	理科
教諭	小泉 雄一	体育
教諭	松本 和行	数学
教諭	清水 賢木	地歴
教諭	儘田 永	数学
教諭	廣井 達人	地歴
教諭	反町 由美	家庭・情報
教諭	女屋 浩	英語
教諭	吉田 信子	国語
教諭	長岡 剛生	数学
教諭	齋藤 隆	国語
教諭	渡辺 彰	国語
教諭	矢畑 雅史	国語
教諭	千吉良 伸一	理科
教諭	石原 めぐみ	英語
教諭	原 拡史	数学
教諭	清水 敏行	理科
教諭	加藤 成昌	地歴
教諭	橋本 整	理科
教諭	齋藤 新弥	数学
教諭	宮崎 由香	英語
教諭	大淵 圭	国語
教諭	小堀 敦史	数学
教諭	西山 昇	体育
教諭	女屋 尊典	英語
教諭	鈴木 崇元	英語
教諭	井野口 浩	数学
教諭	新保 啓介	英語
教諭	森口 秀徳	数学・情報

職名	氏名	教科
養護教諭	宮下 智子	
実習教員	加納 順子	
教諭(地公臨)	木村 淳之	体育
事務主任	角田 ひろみ	
事務主任	上野 正章	
事務主任	今城 智恵	
司書(主幹)	諸橋 恭子	
公仕(主幹)	浅見 芳弘	
公仕(地公臨)	下田 良子	
非常勤講師	須田 幸秀	
非常勤講師	下田 紀史	
非常勤講師	島田 要	
非常勤講師	栗原 秀司	
学校校医	高井 淳	
学校校医	川島 理	
学校校医	平形 義人	
学校校医	干川 栄二	
学校薬剤師	宮前 哲也	
日直代行員	高橋 秀雄	
日直代行員	田中 愛司	

❖ 卒業生数 ❖

渋川中学校卒業生

	回数	卒業生数	備考
大正14年	1	33	
15年	2	34	
昭和2年	3	73	
3年	4	67	
4年	5	69	
5年	6	70	
6年	7	83	
7年	8	75	
8年	9	67	
9年	10	81	
10年	11	84	
11年	12	67	
12年	13	77	
13年	14	80	
14年	15	72	
15年	16	81	
16年	17	87	
17年	18	95	
18年	19	95	
19年	20	93	
20年	21	122	5年
〃	〃	167	4年
21年	22	52	
22年	23	114	
23年	24	189	
24年	25	19	
合計		2146	

渋川高等学校卒業生

	全日制		定時制		卒業生数計
	回数	卒業生数	回数	卒業生数	
昭和24年	1	94			94
25年	2	146			146
26年	3	181			181
27年	4	256	1	41	297
28年	5	192	2	80	272
29年	6	206	3	75	281
30年	7	261	4	84	345
31年	8	262	5	70	332
32年	9	263	6	76	339
33年	10	262	7	58	320
34年	11	250	8	66	316
35年	12	254	9	60	314
36年	13	253	10	51	304
37年	14	242	11	47	289
38年	15	243	12	51	294
39年	16	243	13	48	291
40年	17	301	14	36	337
41年	18	375	15	69	444
42年	19	359	16	60	419
43年	20	357	17	39	396
44年	21	349	18	43	392
45年	22	335	19	34	369
46年	23	335	20	19	354
47年	24	325	21	21	346
48年	25	327	22	16	343
49年	26	314	23	9	323
50年	27	347	24	11	358
51年	28	361	25	16	377
52年	29	372	26	11	383
53年	30	360	27	10	370
54年	31	355	28	11	366
55年	32	360	29	14	374
56年	33	354	30	12	366
57年	34	342	31	17	359
58年	35	356	32	9	365
59年	36	356	33	14	370
60年	37	351	34	6	357
61年	38	342	35	6	348
62年	39	357	36	9	366
63年	40	349	37	18	367
平成元年	41	359	38	19	378
2年	42	346	39	14	360
3年	43	359	40	18	377
4年	44	362	41	19	381
5年	45	360	42	21	381
6年	46	358	43	15	373
7年	47	343	44	11	354
8年	48	353	45	7	360
9年	49	329	46	9	338
10年	50	312	47	10	322
11年	51	276			276
12年	52	271			271
13年	53	276			276
14年	54	268			268
15年	55	272			272
16年	56	240			240
17年	57	237			237
18年	58	239			239
19年	59	239			239
20年	60	199			199
21年	61	199			199
22年	62	199			199
合計		18343		1460	19803

総合計	21949
-----	-------

❖ 編集後記 ❖

渋川高校が創立90周年を迎えました。この節目に、80周年以降の10年間を写真で振り返る、記念誌「榛嶺」を発行できたことにつきまして、同窓会をはじめとする関係者の方々に深く感謝申し上げます。編集に携わった者として、何よりもまず無事発行にこぎつけられ、ほっとしているというのが実感でございます。

さて10年前、渋高は新たなる出発をしました。校舎の全面改築工事が竣工されたのがちょうど10年前の2001年5月なのです。(9ページ参照) その年に入学した生徒にとって、学舎は常に工事中という状況だったかもしれません。

世界もまた動きました。2001年といえば、9月にアメリカで同時多発テロが起こった年であります。激動の時代の始まりです。

そしてこの10年間、もちろん渋川高校の生徒たちも、変わってきています。「俺のときの渋高は～」とか「昔の渋高生は～」といった言葉は、良きにつけ悪しきにつけ口に上りがちです。しかし一方で、容れ物が変わっても、社会情勢が動いても、決して変わらないものもまたあるはずで。

この記念誌のページをたぐりながら、渋高の、あるいは渋高生の「不易流行」に思いをはせていただければ幸いです。

最後になりますが、写真提供に尽力していただいた有限会社イワモト・フォト様に、厚く御礼申し上げます。(W)

参考文献

- ・榛嶺一目で見る渋高70周年記念誌
- ・榛嶺一創立80周年記念誌
- ・群馬県立渋川高等学校 学校要覧 (2001～2010)

榛嶺 一目で見る渋高10年間の歩み 創立90周年記念誌

発行日 平成22年10月2日

編集 群馬県立渋川高等学校創立90周年
記念事業実行委員会

発行 群馬県立渋川高等学校
群馬県立渋川高等学校創立90周年記念事業実行委員会
〒377-0008 渋川市渋川678-3
TEL 0279-22-4120 (代)

製作 有限会社イワモト・フォト
〒370-3102 高崎市箕郷町生原1652-2
TEL 027-371-5631 (代)

© 群馬県立渋川高等学校